

2017 年 1 月 22 日 ソロモン諸島の地震 ー 遠地実体波による震源過程解析（暫定）ー

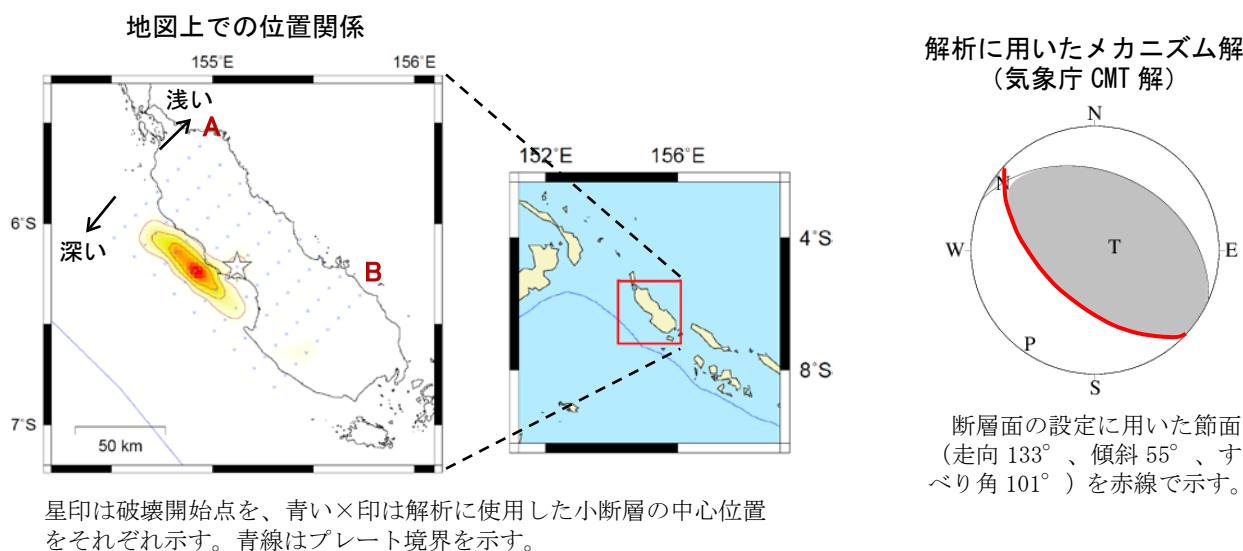
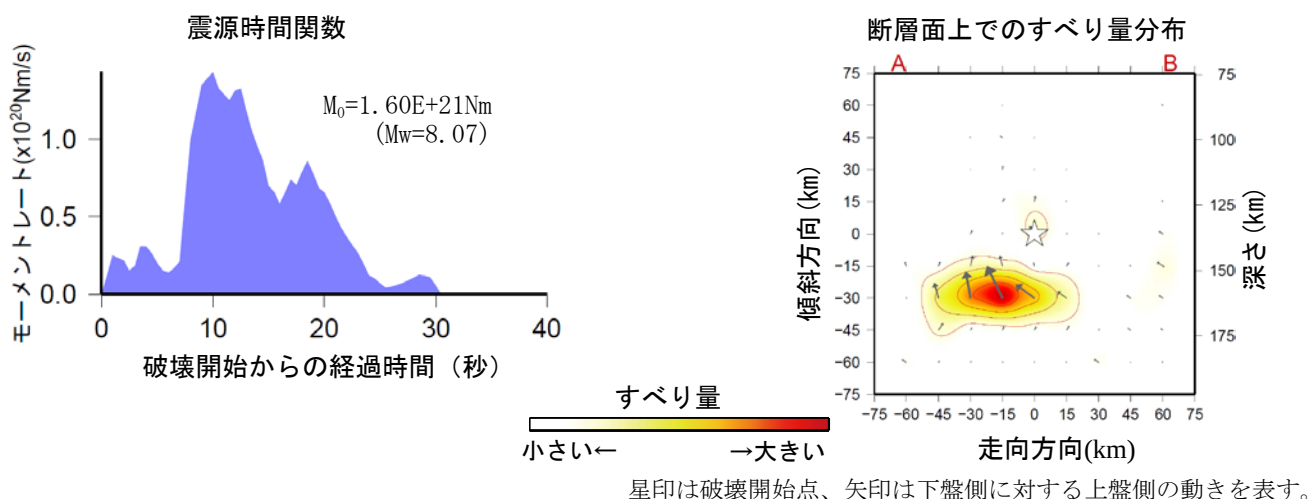
2017 年 1 月 22 日 13 時 30 分（日本時間）にソロモン諸島で発生した地震について、米国大学間地震学研究連合（IRIS）のデータ管理センター（DMC）より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析（注 1）を行った。

破壊開始点は、米国地質調査所（USGS）による震源の位置（6° 12.8' S、155° 7.3' E、深さ 136km）とした。断層面は、気象庁 CMT 解の 2 枚の節面のうち、南西傾斜の節面（走向 133°、傾斜 55°）を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 3.3km/s とした。理論波形の計算には CRUST2.0（Bassin et al., 2000）および IASP91（Kennett and Engdahl, 1991）の地下構造モデルを用いた。

主な結果は以下のとおり（この結果は暫定であり、今後更新することがある）。

- ・主な破壊領域は走向方向に約 75km、傾斜方向に約 45km であった。
- ・主なすべりは破壊開始点から西側やや深い領域に広がり、最大すべり量は 13.3m であった（周辺の構造から剛性率を 70GPa として計算）。
- ・主な破壊継続時間は約 25 秒であった。
- ・モーメントマグニチュード（Mw）は 8.1 であった。

結果の見方は、http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/world/about_srcproc.html を参照。



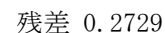
（注 1）解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program,
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

作成日：2017/01/31

気象庁作成

0 30 60 90 120 (秒)



参考文献

- 気象庁作成